

戦争法廃止で一致する 政党・団体・個人は共同しよう

「戦争法廃止の国民連合政府」の実現をよびかけます(続き)

(オモテからの続き)

▼新宿ホコ天を埋める学生と学者の宣伝行動(9月6日)

2、戦争法廃止で一致する政党・団体・個人が共同して国民連合政府をつくろう

「よびかけ」は、戦争法を「国会で廃止の議決を行う」ことと「集団的自衛権行使容認の『閣議決定』を撤回する」課題を実行する政府をつくるために「戦争法廃止、立憲主義を取り戻す、という一点で一致するすべての政党・団体・個人が共同」しようと訴えています。

この連合政府は一点での合意を基礎にした政府であり、暫定的なものです。戦争法を廃止したあとの日本の進路については、改めて解散・総選挙をおこない、国民の審判をふまえて選択するものです。

「よびかけ」は、野党間には政策的な違いが存在するが、それらを「互いに留保・凍結して…大同団結しよう」と提案しています。「相違点は横におき一致



点での合意形成」は可能です。

そして「よびかけ」は「この連合政府の任務は限られたものですが…主権者である国民が…国政を動かすという一大壮挙」となると指摘しています。

3、「戦争法廃止の国民連合政府」で一致する野党が、国政選挙で選挙協力を行おう

「よびかけ」は「来るべき衆議院選挙と参議院選挙で、戦争法廃止をかかげる勢力が多数を占め、連合政府を実現するためには、野党間の選挙協力が不可欠です」と強調し、「日本共産党は『戦争法廃止の国民連合政府』をつくるという『国民的な大義、で一致するすべての野党が、来るべき国政選挙で選挙協力を行うこと』を提案し「その実現のために誠実に力をつくす」と表明しています。

そして、「思想・信条の違い、政治的立場の違いを乗り越えて力をあわせ、安倍自公政権を退場させ、立憲主義・民主主義・平和主義を貫く新しい政治をつくろう」と結んでいます。



▲渋谷駅前の SEALDs (シールズ) の宣伝に5野党代表がそろいびみ(6月27日) =写真の左から民主、共産、維新以外に、社民、生活も参加

安倍政権打倒、戦争法廃止へ
立場の違い超え力あわせよう

日本共産党